

加藤 直明

かとう ただあき

トロンボーン

埼玉県出身 埼玉県在住

【所属マネジメント】

株式会社プロ アルテ ムジケ

住所：〒112-0013 東京都文京区音羽 1-20-14
MBS 音羽ビル 5階

TEL：03-3943-6677 FAX：03-3943-6659

担当：三宅 聡美、田之口 綾子、高柳 満理奈

E-mail：pam@proarte.jp



© Ayane Shindo

やってみたいアクティビティとコンサート

《理想的なアウトリーチを追い求めて…》

「文化」は英語で「カルチャー」。一説によると「カルティヴェイティブ＝耕し、豊にする」というフランス語系ラテン語が語源との事。コンサート活動を支える重要なアウトリーチ活動。これは趣旨や目的を伝えるといったミッション性の高い活動です。この活動に20年余り携わって今感じるのは「学びの場」なのかな？という事。コロナ禍を経て、人とコミュニケーションを取るのに何が重要か分かった今、その価値を我々が伝えるに行く事は文化活動に託された重要な任務なのではないかと思えます。学校が主な現場になる為、その「学びの場」で何を伝えるのか。アウトリーチを通して、トロンボーンと言う鋤を手に土地を耕し「文化」を豊かにしたいものです…

熱い思いをお持ちの担当者の皆様!! アウトリーチは濃く・熱く!!

共に理想的なアウトリーチを追い求めましょう!

《やってみたい事》

地元には地元の良さがあり、そこには素晴らしい街並みや景色があります。一期一会を大切にコンサートやアウトリーチでは「そこで」「その瞬間」しか聴く事の出来ない音楽を共演者と共に作ったり、吹奏楽部対象にはクリニックや共演を実施したいです。特に創造するエネルギーを沢山持っている児童生徒と共に充実した時間を過ごし、アクティビティとコンサートを結びつける事で、この事業の成果を出していきたいです。

自己PR

～魔法の楽器トロンボーン～

この活動を通してトロンボーンはこんなにも人々を魅了する楽器なんだという事に驚きを覚えました。直接管を伸び縮みさせながら演奏するこの楽器は、聴くだけではなく、目でも楽しませてくれます。お客様の大半は初めてトロンボーンの演奏を聴く方ばかり。「どうやって音を出しているのですか?」「管には目印が付いているのですか?」大人も子供も興味津々。そんなトロンボーンに興味を感じ「よし! コンサートに行ってみよう!」と会場に足を運んで頂ければ何よりです。「クラシック音楽は…ねえ…」「音楽はちょっと…」という方いらっしゃいますね。私のトロンボーンで魔法をおかけしましょう!

PROFILE

東京藝術大学音楽学部器楽科（トロンボーン専攻）卒業。
トロンボーンを故 白石直之、故 永濱幸雄、神谷敏、イアン・パウフィールド、箱山芳樹、山本浩一郎の各氏に師事。
これまでにオーケストラの客演、スタジオワーク、ミュージカル等でも演奏活動を展開。東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を経て、現在はソリストとして、また Trio “N” や金管五重奏団 Buzz Five のメンバーとして全国各地を訪問しコンサートやアウトリーチ活動を展開。

後進の指導にも力を入れており、全国各地で開催する「ウォームアップセミナー」や吹奏楽の分野ではアドヴァイザーとして、アウトリーチの分野では研修会での講師やコーディネーターとしても厚い信頼を得ている。

2021年シンフォニエッタ静岡定期公演にて、J. フランセのトロンボーン協奏曲をソリストとして日本初演。

（一財）地域創造公共ホール音楽活性化支援事業、（公財）ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」各登録アーティスト。
Trio “N”、金管五重奏団 Buzz Five、アンサンブル東風、The Best Bee-Brass in Japan、シンフォニエッタ静岡の各メンバー。